

歴

おん レキ

〔4年〕

14画 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶

なりたち 旧字体は歴。収獲した稲を崖下(厶)に次々と順序よく並べて干すことを表した麻(厶)と、歩く意味の止との会意形声字。順序よく次々と歩くこと。「経巡る」こと。また、「はつきり」の意味。



いみじゆく

経る。歴史：人間社会の移り変わり。また、それを記したものの。例 歴史的な事件(歴史に残るほどの大事件)。経歴：今までに経て来た学校や仕事など。履歴：経歴と同じ意味。例 履歴書。学歴：どんな学校を卒業したかという経歴。

順をおってゆく。歴訪：順をおって人や土地を訪れること。用 例 東南アジアを歴訪する。歴任：次々と種々の役職に任命されること。歴然：はつきりしている様子。用 例 歴然とした証拠。

歴歴：①はつきりとした様子。②身分の高い人々。

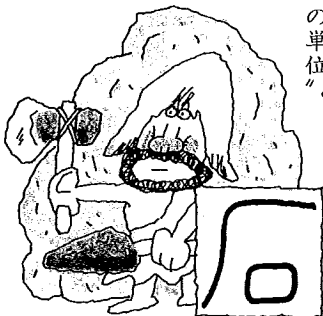
石

おん セキシヤク。コク いし

〔1年〕

5画 一 厶 厶 厶 厶

なりたち 崖下(厶)に転がっている石の形をかたどった象形字。口が石の象形だが、これでは口と区別がつかないので、崖(厶)の形を加えた。「いし」。また、「石で作ったもの」。転じて、「容量の単位。禄高(石)の単位」。



いみじゆく

いし。石で作ったもの。岩石：岩や石。地殻を形成している物質。石材：建築や彫刻の材料に使う石。石器：石器時代の人が使った石で作った道具。斧(石)や鍬(石)や刀などがある。石火：石を打って火を出すこと。また、その火のように非常に素早いこと。用 例 電光石火の早わざ。

容量の単位。禄高(石)の単位。石高：①米や麦などの穀物の量。十合が一升(約一・ハリツトル)、十升が一斗、十斗が一石。②昔の武士の給料の額。米で与えられたので「石」で表した。よみかた 石像・石碑・石油・化石・試金石・磁石・寶石

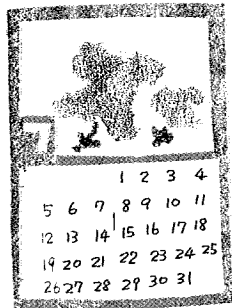
歴

曆

おん レキ こよみ

14画 一 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶

なりたち 旧字体は曆。稲を崖下(厶)に次々と順序よく並べることを表した麻(厶)と、日の会意形声字。天体の運行に従い日を順序よく並べて作った書。「こよみ」を表した字。



いみじゆく

こよみ。曆年：曆で定めた一年。一月一日から十二月三十一日まで。の三六五日。曆法：曆の作り方。曆についてのきまり。太陽曆：地球が太陽の周囲を一回転する時間を基準として作った曆。回 太陽曆。太陰曆：月が地球の周囲を一回転する時間を基準として作った曆。陰曆。旧曆。新曆：太陽曆のこと。明治期にそれまでの陰曆(旧曆)を廃し、太陽曆に改めた。西曆：キリスト誕生の年を紀元とする、西洋の曆。還曆：数え年六十一歳の呼び方。六十一年で生まれた年の干支(支)にかえてつて来ることから。

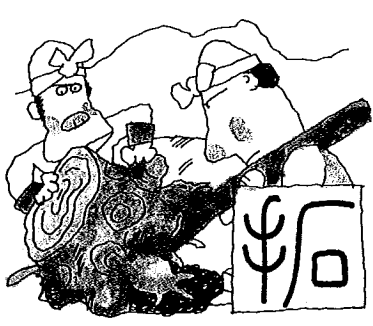
よみかた 花曆

拓

おん タク

8画 一 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶 厶

なりたち 手と石(厶)(シヤク)のなまり)との会意形声字。手に石斧(石)を持って土地を切り開くことを表した字。また、石碑の表面に紙を密着させ、こすって「石刷り」を作ること。また、「石刷り」。



いみじゆく

切り開く。開拓：①山野を切り開いて田や畑を作ること。開墾。②新しい分野を切り開くこと。用 例 新しい市場を開拓する。干拓：湖や沼や海などの水を排水して、新しい宅地や田畑を作ること。

拓殖：新しく土地を切り開いて、そこに移住し、経済的に開発すること。石刷りを作る。石刷り。拓本：石碑などの表面に紙を密着させ、墨汁を含ませたたんばで上からたたき、その表面の文字や模様を写したものの。彫られた文字が白く残る。

魚拓：魚の表面に墨を塗り、和紙をその上に密着させて魚の形を写したものの。

石

拓